

指導教員		学 年	第 1 学年 全クラス
教 科	現代文明論 (総合的な探究の時間)	科 目	高校現代文明論 (総合的な探究の時間)
単 位 数	1	使用教科書等	新編 高校現代文明論
授業の目標	高校現代文明論は、自らに「人生如何に生きるべきか」と問いかけ、意義ある人生を送るため、多様なものの見方の中から、正しいものの見方・考え方を確立し、人道主義・人格主義に基づいた思想を培うことを目的とした教科である。 本校では、創立者の思想を通して本学園建学の理念を理解すると共に、「人生にとって大切なものは何か」「我々は如何に生きるべきか」を生徒自らが考え、しっかりしたものの見方、考え方を養う。したがって現代文明の諸問題を個別的・網羅的に学ぶのではなく、すべての教科目共通の「主体的な学び」のモデルとなる問題発見・解決型の学習姿勢・方法を身につけることを目標とする。 また、副校長によるクラス毎の巡回授業を年間 1 回実施する。		
授業進度	* () 内は年間通算回数 第 1 ユニット 「建学の精神」 目標：建学の精神を通して現代文明を理解することができる ①校長講話 (1 回) 「明日へのメッセージ」を参照しながら学園についての理解を深める ②オリエンテーション (2 回) 「高校現代文明論」の概要や評価法、年間計画を理解する 電子黒板使用 ③「名利なき証言」 1 (3 回) ビデオ「名利なき証言」(前半)を見ながらワークシートを記入する 電子黒板使用 ④「名利なき証言」 2 (4 回) ビデオ「名利なき証言」(後半)を見ながらワークシートを記入し、終了後「科学は両刃(もろは)の剣である」という創立者の言葉の意味について考える 《レポート》 建学の精神を踏まえ、今後どのように人生を生きたいのか、具体的に説明する 電子黒板使用 第 2 ユニット 「知的財産(権)」 目標：考えを組み立て、伝えるための技術を身につけることができる ①知的財産尊重教育 1 (5 回) 知的財産権の種類を理解し、知的財産の創造を实践する 電子黒板・タブレット P C 使用 ②知的財産尊重教育 2 (6 回) 知的財産権の歴史を理解する 電子黒板使用 ③知的財産創造教育 1 (7 回) 知的財産を創造するための技術を理解する 電子黒板使用		

- ④知的財産創造教育２（８回）
知的財産（意匠・アイデア）を創造する

電子黒板・タブレットＰＣ使用

第３ユニット 「現代文明の諸問題」

目標：ポスター／口頭発表やアクティブ・ラーニングを通して、現代文明の諸問題について考えることができる

- ①リサーチ編１（９回）
現代文明の諸問題を理解する

タブレットＰＣ使用

- ②リサーチ編２（１０回）
グループを編成し、テーマ・役割分担を決定する

タブレットＰＣ使用

- ③リサーチ編３（１１回）
プレゼンテーションスキルを修得する

アクティブボード・タブレットＰＣ使用

- ④リサーチ編４（１２回）
リサーチを実施し、ポスター／スライドおよび発表原稿を作成する

タブレットＰＣ使用

- ⑤リサーチ編５（１３回）
リサーチを実施し、ポスター／スライドおよび発表原稿を作成する

タブレットＰＣ使用

- ＊「オリンピック教育」（予定）（１４回）
副校長による巡回授業（各クラス通算３回～１４回の間に実施）

電子黒板・タブレットＰＣ使用

- ⑥リサーチ編６（１５回）
リサーチを実施し、ポスター／スライドおよび発表原稿を作成する

タブレットＰＣ使用

- ⑦リサーチ編７（１６回）
リサーチを実施し、ポスター／スライドおよび発表原稿を作成する

タブレットＰＣ使用

- ⑧リサーチ編８（１７回）
リサーチを実施し、ポスター／スライドおよび発表原稿を作成する

タブレットＰＣ使用

- ⑨リサーチ編９（１８回）
リサーチを実施し、ポスター／スライドおよび発表原稿を作成する

タブレットＰＣ使用

- ⑩プレゼンテーション編１（１９回）
ポスター／口頭発表を実施する

電子黒板・タブレットＰＣ使用

- ⑪プレゼンテーション編２（２０回）
ポスター／口頭発表を実施する

電子黒板・タブレットＰＣ使用

⑫プレゼンテーション編3（21回）

ポスター／口頭発表を実施する

電子黒板・タブレットPC使用

⑬プレゼンテーション編4（22回）

ポスター／口頭発表を実施する

電子黒板・タブレットPC使用

「建学の精神」（23回）「忠臣蔵の真実」の鑑賞

電子黒板使用

⑭学年発表会の実施（24回・25回）

高輪キャンパス大講義室

⑮アクティブ・ラーニング編（26回）

ワークショップを通して現代文明の諸問題について考える

電子黒板・タブレットPC使用

第4ユニット 「ディベート」

目標：議論するための技術を身につけることができる

①「模範ディベートの実施」（27回）全クラス対象

高輪キャンパス大講義室

模範ディベートを見学しながらフローシートを記入する

②ディベートスキルの修得1（28回）

ディベートのスキルを修得する

電子黒板・タブレットPC使用

③ディベートスキルの修得2（29回）

ディベートのスキルを修得する

電子黒板・タブレットPC使用

④ディベートの実施1（30回）

ディベートの試合を実施する

⑤ディベートの実施2（31回）

ディベートの試合を実施する

⑥ディベートの実施3（32回）

ディベートの試合を実施する

⑦ディベートの実施4（33回）

ディベートの試合を実施する

*リフレクション（第34回）

振り返り・レポートの実施

タブレットPC使用

本校では、生徒が授業に対して能動的に参加することを促進するために、電子黒板やタブレットＰＣなどのＩＣＴ機器を利用した探究活動を取り入れています。

高校現代文明論では「ものの見方、考え方」を養うことを目的としており、既存の知識を詰め込むことよりも学習者が自ら現代文明の直面している問題を発見・解決していく力を重んじる教科・科目です。探究活動で提示された意見の共有、あるいはディベートでの立論作成など、様々な場面においてＩＣＴは学習者の主体的な「学び」を大きく助ける強力な道具となることでしょう。